

会 員 連 絡

I 今年度大会について

2010年5月15日(土)、16日(日)の両日、本学会第62回総会及び第69回大会が大分大学において開催され、参加者は延べ約500名で盛況でした。

総会における報告及び議決事項は下記の通りです(敬称略)。

議長挨拶	西 英久
会長挨拶	高山 守
一般報告	新田孝彦
国際交流活動報告	古茂田宏
前年度決算報告	榊原哲也
会計監査報告	山田弘明
本年度予算案審議	一ノ瀬正樹
編集委員会報告	金山弥平
役員組織改正について	飯田 隆
若手奨励賞表彰式	受賞者 山蔦 真之 カント実践哲学における尊敬の感情 —道徳における動機、もしくは執行の原理?—

① 一般報告

2009年度日本哲学会会計報告を、既に配布した報告の記載通りに承認しました。

② 会計報告

2009年度日本哲学会会計報告を、既に配布した報告の記載通りに承認しました。

2010年度日本哲学会予算を、既に配布した報告の記載通りに承認しました。

II 来年度大会について

① 開催場所 東京大学 本郷キャンパス

② 日時 2011年5月14日(土)・15日(日)の予定

③ 来年度大会のシンポジウム、共同討議のテーマ並びに発表者が、以下のように決定されました(敬称略)。この他、大会において、日本哲学会第63回総会、ならびに会員からの応募による一般研究発表、哲学教育のワークショップが予定されています。

第1日目

共同討議 I 「ヒュームと現代— 道徳哲学を中心に—」

提題者 ①伊勢俊彦
②秋元ひろと

司会 服部裕幸

共同討議 II 「サステナビリティの哲学」

提題者 ①菅原 潤
②丸山徳次

司会 工藤和男

第2日目

シンポジウム「現代における家族/親密圏」

提題者 ①上野千鶴子
②金井淑子
③杉田孝夫

司会 高山 守
石崎嘉彦

④ 一般研究発表について

1 応募方法

下記5に掲げる所定の書式にしたがってプリントアウトし、ホッチキスで留めた「発表要旨」と「一般研究発表応募調書」各3部ずつを提出すること。

要旨と調書の電子ファイルは、メール添付にて事務局宛送ること。

応募調書(Word、PDF)は学会ホームページからダウンロードしてご利用ください。

郵送用封筒の表に「一般研究発表要旨在中」と明記すること。

応募した書類は返却しません。

2 応募資格

日本哲学会会員であること。ただし、応募時に会員でなくとも、入会申込み書を提出すれば、仮受領の形で受け付けます。

3 応募締切

2010年11月12日(金)

ファイル: 当日必着

印刷物: 当日消印有効

4 審査

編集委員会で審査・選考します。結果は大会前の3月ごろに通知予定です。

5 発表要旨書式

B5サイズ三枚以内。

横書き、36字・35行、フォント10ポイント、上余白30ミリ、下余白25ミリ、左右余白27ミリ。

頁番号はつけないこと。ただし、一頁目のレイアウトは以下のとおり。

上部の八行のうち第一行目と第八行目を空行にして、残りの六行のなかに題目、氏名、ふりがな、可能であれば氏名の下に所属機関を収める。

題目は、12ポイント中央、副題がある場合には、11ポイントまたは10ポイント中央、氏名は、11ポイントまたは12ポイント右寄せ。ふりがなは、ルビの体裁でも、氏名の直後に丸括弧のなかに入れてもよい。所属機関は、9ポイント右寄せ、丸括弧に入れる。

・ソフトの仕様から生じる若干の差は許容。

・応募された原稿をそのまま版下として使用するので、この書式(レイアウト)を遵守すること。

Wordをお使いの方はホームページに上記書式を設定したファイルを用意しましたのでご利用ください。

III 役員組織改正について

本年4月の会員連絡においてお知らせいたしました日本哲学会規則改定案が、第62回総会にて承認されました。新規則ならびに、その後、委員会で定められた役員選出・評議員選挙細則については同封の別紙をご覧ください。**なお規則改正(次回選挙時から施行)に伴い、評議員選挙の時期が従来より早まります(2011年1月予定)**。選挙前には改めて会員の皆様にご案内いたします。

IV 公募論文について

日本哲学会は機関誌『哲学』に掲載する論文を募集しております。論文を投稿しようとする会員の方は以下の要領で応募してください。

応募要項は、学会ホームページ(<http://philosophy-japan.org/>)にも記載されております。

1. 論文テーマ

哲学に関するもの。ただし、未公刊のものに限ります。

※他所での口頭発表をベースにしている場合は、その旨論文に記載してください。

2. 応募資格

当年度会費を納入済みの日本哲学会会員であること。ただし、前年度の『哲学』に公募論文が掲載された者を除きます。

3. 使用言語

日本語、もしくは英語、ドイツ語、フランス語。

4. 原稿分量

以下の形式で応募して下さい。

・日本語、欧文、いずれの場合も句読点、ピリオド等も字句数に数えます。

・枚数は厳守のこと。

・日本語の場合: 本文と注を40字×40行でレイアウトして(改行などによるスペースも含めて)10枚以内

・欧文論文の場合: 本文と注を含め6000語以内。日本語の全訳(もしくはバラグラフの順序に忠実な要約)を付すこと。

5. 欧文要旨

日本語、欧文論文ともに、300語程度の欧文要旨(英・独・仏語のいずれか)とその日本語訳を作成すること。要旨も評価の対象ですので、ネイティブ・チェックを受けるなど、きちんとしたものをご提出くださるようご注意ください。

6. 提出物

・原稿3部

A4判用紙に下記の要領で印刷して下さい。応募原稿には、氏名、ふりがな、所属機関名を明記のこと。

日本語の場合：1頁40字×40行で印字したもの（本文と注は同じポイントで）。

欧文論文の場合：特に印字の指定はありません。日本語訳は日本語論文と同じ形式で1頁40字×40行で印字する

欧文論文の場合、ネイティブ・チェックをあらかじめ受けるものとします。

ネイティブ・チェッカーによる、チェック済の証明書と、そのチェッカーの経歴書（ともに書式自由）各1部添えてください。

・欧文要旨とその日本語訳 各3部

A4判用紙に印刷して下さい。氏名、ふりがな、所属機関名を明記のこと。

・「応募論文調書」 1部

指定書式に必要な事項をご記入ください。書式ファイルは学会ホームページからダウンロードしてご利用下さい。

7. 提出要領

・ファイル

論文原稿、欧文要旨及びその邦訳、応募論文調書を添付ファイルとしてEメールで日本哲学会事務局（nittetu@philosophy-japan.org）まで送ること。

・印刷物

必要部数を揃え、封筒の表に「公募論文原稿在中」と明記の上、事務局宛に郵送のこと。（なお、提出された原稿は返却していません。）

8. 応募締切

随時提出することができます。『哲学』次号掲載のための**締め切り目安は6月末**ですが、その期日内に提出された論文であっても、採用された論文の数が多い場合や、書き直し等により審査に日数を要する場合など、次々号以降に掲載が延期されることもあります。

9. 審査

編集委員会の責任において審査・選考します。審査の過程で問題点を応募者に指摘し、書き直しの要求をする場合があります。また、不採用になったものについても、その結果と理由を通知しております。なお、審査の過程が論文によって異なるため、結果の通知は随時行っております。

※かつて応募論文を「不採用」と判定された応募者が、新たに論文を投稿し、この新規投稿論文が旧論文とほぼ同内容と判断された場合は、「二重投稿」とみなされて「不採用」となります。

※書き直し再投稿、および、字句修正指示を受けた修正稿を提出する場合は、論文原稿、欧文要旨及びその邦訳、論文調書を添付ファイルとしてEメールで日本哲学会事務局まで送付し、印刷物は採用が確定した後指示を受けてからお送りください。

※欧文論文の場合は、書き直し再投稿、修正稿の審査結果が出た後、改めて確定稿についてネイティブ・チェックを受け証明書をご提出ください。

V その他

① 新しい『会員名簿』を同封いたします。記載の内容に変更があれば随時、事務局宛ご連絡下さい。

② 会費納入のお願い

会費を未納の方は至急お納め下さい。今年度会費(6000円)を含めたご請求額は封筒の宛名ラベルの右下に表示してあります。同封の振込用紙にて振込をお願いいたします。（納入会費に超過分のある方には振込用紙を同封していません。）また、会費未納3年以上の方は会員資格にかかわる重要なお知らせを同封しておりますので、よくお読み頂き未納分の会費をお納め下さい。なお請求額は2010年7月17日現在の資料(会費年度は3月1日～翌年2月末まで)に基づいております。行き違いの節はご容赦下さい。領収書は郵便振替の払込書をもってかえさせていただきます。

③ 会員資格について

近年連絡先不明の長期会費未納会員の方が多く、日本哲学会の運営および財政上不都合が生じております。日本哲学会では、2008年度より会費未納猶予期間を短縮し、4年以上会費未納の会員は日本哲学会会員資格を停止するものとし、学会誌『哲学』等の発送も停止しております。会費未納期間が3年以上になる会員の方には、書面にてその旨ご連絡させていただきます。4年目の会費年度中に会費を納入していただけない場合は、会員資格が停止されますのでご注意ください。なお、会員資格を停止された方が資格の復活を希望される場合は、会費未納期間分の会費24,000円分(6,000円×4年分)の支払いを条件といたします。

④ 事務局への連絡について

連絡は郵便またはEメールでお願いいたします。

事務局は、東京大学大学院人文社会系研究科哲学研究室内(〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1)です。e-mail : nittetu@philosophy-japan.org

以上